

Mark D. Hauser “Moral Minds”
Chap.6 Roots of Right (p.307-335)

2009.1.23 信原ゼミ

中尾麻伊香

目次

- Part III. Evolving Code 進化のコード
- Chap.6 Roots of Right 正しさの起源

Darwinian Nodes of Action ダーウィニアン行動
ノード

Who am I? 私は誰?

Crocodile Tears ワニの涙

ヒトと動物の違いは？ p.307-

- チンパンジーのトロッコ問題

(太った男ではなく)太ったチンパンジーを殺すまたは死に至らしめることで5匹のチンパンジーを救うという行為→許容される

このようなヒトとチンパンジーにおける違いをどのように説明または正当化できるだろうか？？

我々は、言語、意識、感情、未来への感覚といった、特徴的な能力によって、ヒトと動物を区別している。

感情的付着 p.308-

- 肝心な点は、人間と動物の心理学的な違いではなく、人間が何百万年もかけて築きあげてきた、他の種ではなく人間の繁栄を保障するように形成された感情的付着 (emotional attachment) であろう。

→ チンパンジーのトロッコ問題は、我々の人間に対する道徳的付着がチンパンジーへのそれを上回ったから。

この見方が正しいとすれば、我々の判断の指示における Humean creature の役割が再考される。

道徳の起源と動物： DarwinとHuxleyの考え p.310-

- Darwin: 社会的本能をもった動物は、道徳意識の起源と進化を考えるために、適切な種の動物である。進化の結果、動物は道徳をもちうる。
- Huxley: 我々の善悪の性質の多くは、進化の贈り物である。しかし、道徳システムによって悪を鎮圧し、善を促進させようとする能力は、人間の創造したものである。
- 多くの進化生物学者はHuxleyの主張に従った。

適応機能に答える二つの方法 p.311-

1. 固体の生き残り、再生産のために特定の種がどのような行動をとるのかを記録する。(ex.利他主義行動を考える)
2. 対象の形式的特長の源をみる。
Reverend Paleyの*Natural Theology*
Richard Dawkins
神のデザイン

動物は騙し屋を見抜くか p.312-

- Cosmides and Dobbyのcheater detection(騙し屋を見抜く)をめぐって
C and D:この能力は人間適応に特徴的と示唆。

→人間の特徴だというには、動物の観察を試みる必要がある。

ハウザー:動物もだましをするケースがたくさんあり、いくつかのケースは、だましが見破られている。

この章では、道德機能のどの部分が人間特有なのかを調査する。互惠主義reciprocityを最も重要なものとして用いる。

Darwinian Nodes of Action p.313-

- 動物は出来事の発生に先立って、そのことを予期し考えることができるのか？
→もし動物が予期し違反を見破ることができるなら、社会的な善悪(そしてひょっとすれば道徳的善悪)の判断をできるに違いない。
- 心理学者Eduard Tinkelpaughの実験(1920年代)
赤毛猿とチンパンジー コンテナに隠された食べ物を期待する。(食べ物があれば喜び、なければ当惑する)
→その後も(神経コードを明らかにするものを含む)幾多の実験で実証される。
- 霊長類の脳は生き残りのために、結果を予測できるように進化している。

Darwinian Nodes of Action p.314-

- 動物は、行動と出来事を予測できるのか？(cf. 4章の幼児の観察)
- Principle1: 物体がそれ自身で動けば、それは動物あるいはその一部である。
- Principle2: 物体が空間上のほかの物体または場所に向かって特定の道順を動けば、目標地がオブジェクトのゴールと理解する。
- Principle3: 物体が周りの環境に応答して目的地を変えながら柔軟に動くなら、オブジェクトは合理的である。
- Principle4: 物体の行動が次の物体の行動にすぐ受け継がれれば、次の物体の行動は社会的に付随する行動とみなされる。
- Principle5: 物体がそれ自身で動き、目的地に向かい、環境に柔軟に対応するなら、その物体は同じ考えをもつほかの物体に苦痛または慰めを与える可能性を持つ。

Who am I? p.322-

- ミラーを用いて動物の自意識を調べる
- 心理学者Gordon Gallupの実験(1970s)
チンパンジーに麻酔をかけている間に、片方の目と耳に赤い染料をつけた→意識を取り戻したチンパンジーはミラーを見て、自分の染料された箇所を触った。→固体を彼ら自身して見た。
他の多くの動物は、そのような反応を示さなかった。
→チンパンジー、ボノボ、オランウータンは特別であるとする研究者も。
- 彼らの議論に欠けているポイント
- ミラーに反応を示さなかった動物は、自意識がかけているか、視覚野が特に敏感でないかということ。視覚以外にも聴覚、嗅覚、触覚などがある。
- ミラーテストは、その反応を認識したときに固体が何を考えるのかについて何の回答もだしていない。
- 我々はそれらの知識について彼らの知っていること、彼らの感じることを知らない。

Who am I? p.325-

- 認知脳神経学者Robert Hampton

動物の自意識についての調査

→動物は彼らの行動に罪を感じるか、あるいは他者が罪を感じることを予期するかを理解し、自分と他者の信念の違いを理解し、この知識を他者の行動を判断するためのガイドとして使うだろう。

- Herbert Mead

有機体は彼ら自身の行動とそれのミラー反射である他の行動との間の調和的共鳴を認識することによって自意識を確立するしかないであろう。

Crocodile Tears p.326-

- バウリンガル(2002,株式会社タカラ)
「動物感情分析システム」人間と動物の間の真のコミュニケーションを実現させるために。
声紋分析によって犬の感情を分析。



- とはいっても、我々が感情を記述する言葉は動物の経験を反映しているのだろうか。
- 今日の我々の動物の感情についての理解は、どれほど彼らの協力的、競争的な行為への理解に貢献しているのだろうか。

Crocodile Tears p.327-

- どのようにヘビを恐れるのか（「恐れ」を考える）
- 赤毛猿 他の集団が恐れるのを見て、恐れるようになる。しかし花を見て恐れる集団がいたとしても、それは広まらない。
- ネズミは表面的には恐れを表さないが、威嚇的なものに遭遇すると、凍りつき、身を引く反応をする。
- ネズミも霊長類もすべて、ぞっとしたときに一連のホルモンと神経の変化をみる。
ex.嫌な出来事にぞっとしたとき、すべての哺乳類はへんとう体が活発になる。

生理学上の反応と行動上の反応が重なり合うために、多くの論者はネズミや霊長類は恐れを経験すると主張する。
対立論者は、行動と生理学のいくつかの側面が平行していたとしても、実際の経験は違っていると主張する。

Crocodile Tears p.328-

- 発達心理学者Jerome Kagan

「ネズミと人間における痛みを伴うショックにつづく状態を区別する一つの根拠は、人間がより大きな前頭葉を持っているということだ」

Kagan: 前頭葉の大きさは恐れを経験にとって重大である。

→ 恐れがネズミではなく人間の前頭葉を活性化させるという事実は、脳のどの部位が関与しているかという点で興味深い。ネズミは、脳のほかの場所が作用して我々と同じ感情を経験しているかもしれない。

人間同士でも、他人の感覚を正確に理解することはできないが、一般的な理解はできる。「恐れ」という言葉で、感情特有の種類だということがわかる。

Crocodile Tears p.330-

- 生物学者Frans de Waal
- 和解についての研究から、感情がある社会規範を保持し支持する中心的役割を演じていることをあきらかに。
→和解をする種は、動物がどのように振舞うかということについての予測を生み出す行動の原則がある。
- なぜ和解が動物における闘争解決の形として発展したのか。
 1. 価値のある社会関係を保持するから
 2. 短い期間の資源を得るための同盟を組むためにデザインされたシグナルを送ることを可能とするから
→どちらも関係性に価値をおく
ここでHumean Creature と価値がむすびつく。

Crocodile Tears p.332-

- このような関係性に価値があるのか？
 - 動物は社会的関係を自然に発生した権利として感じているのか？
 - 彼らはそれをするのはどれほど大変なのか？
 - 動物を社会的関係から奪うことは、道徳コードを冒涇しているのか？
-
- 動物と福祉と権利をめぐる問題。
 - 行動学者Marianne Dawkinsらの経済モデルに基づいた実験。食用あるいは生物医学目的に動物を所有することが前提→賛同しない多くのひとも動物を食べる。人間の病気の治療には動物実験の知見が用いられている。

Crocodile Tears p.333-

- 動物が本当は何を欲しているのか。
- Dawkinsの研究

動物の感情が動物の価値とどのように結びついているかについての新たな理解を得ることができる。

ex.ミンクがほしいものはウォータープールである。なぜならミンクは水の中で多くの時間をすごしており、水は必需品だから。

- 人間以外の動物は泣いたりしないが、人間の気持ちや心はほかの動物と多くの共通点がある。
- Humean Creature は、古代の進化の遺産である。